

2022年3月期（第38期） 第1四半期 決算補足資料



2021年7月30日
テクマトリックス株式会社（コード：3762）



- ◆ 2021年3月期の有価証券報告書より、国際財務報告基準（IFRS）を適用しております。
- ◆ 本資料に記載される業績等については、原則すべてIFRSベースで記載をしております。ただし、2019年3月期（第36期）以前の業績等について記載がある部分については、それらは日本基準で記載をしております。



- ◆ 売上収益は過去最高を記録。
- ◆ 営業利益は昨年度対比で減少。
 - ・ 本格展開を開始した教育事業への先行投資の実施。
 - ・ 前年度の新型コロナウイルスの影響による販売促進費（販管費）減少の反動。
 - ・ 従業員数増加に伴う給与手当等々の人件費（販管費）の増加。
 - ・ 新規連結子会社の営業損失取込み。
 - ・ 期末業績連動賞与の引当てを四半期毎に変更。（昨年度までは半期毎）

(単位：百万円)	21年3月期 1Q	22年3月期 1Q	増減額	増減率
売上収益	7,515	7,612	+97	+1.3%
営業利益	963	647	△316	△32.8%
税引前利益	966	648	△317	△32.9%
親会社の所有者 に帰属する 四半期利益	649	427	△222	△34.2%

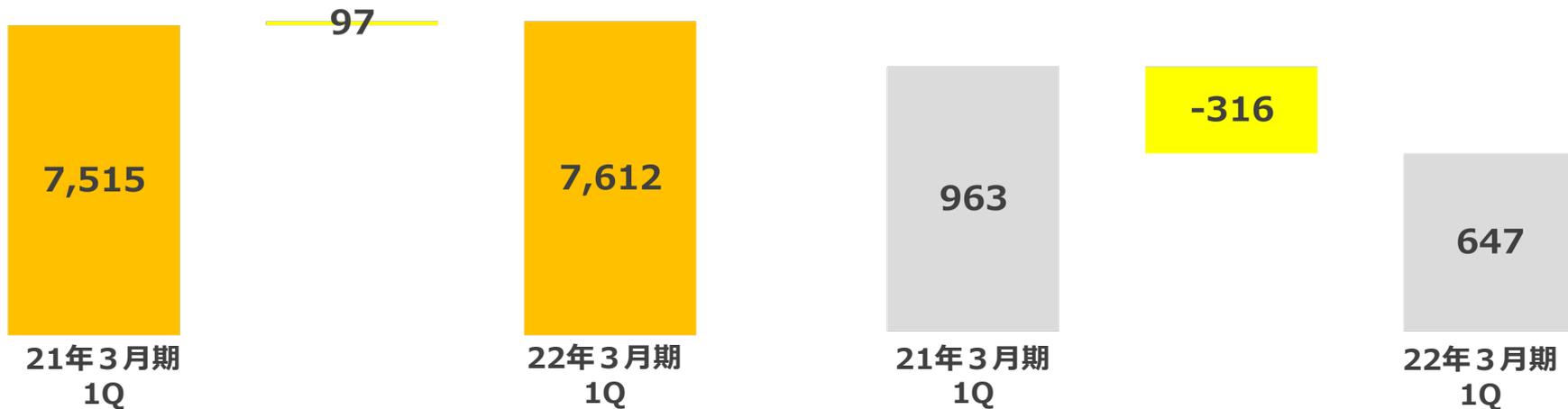


単位：百万円

売上収益

単位：百万円

営業利益



(単位：百万円)

	21年3月期 1Q	22年3月期 1Q	増減額	増減率
売上収益	7,515	7,612	+97	+1.3%
営業利益	963	647	△316	△32.8%



セグメント別 連結売上収益（第1四半期）

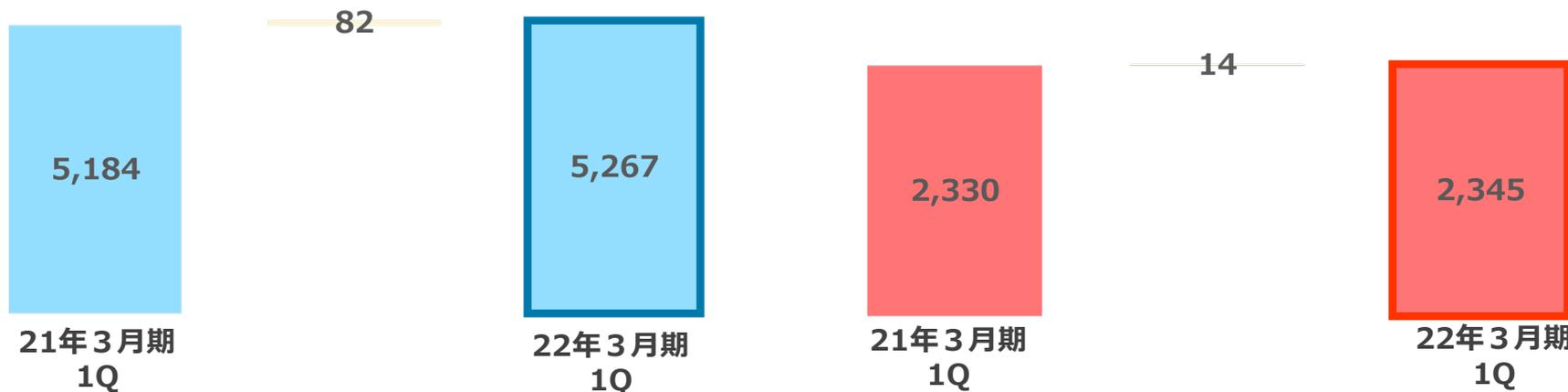
- ◆ 情報基盤事業：売上収益は過去最高を記録。SASE等のクラウド型のセキュリティ製品の引合いは堅調。Cyber Hygiene、SDP等の新しい世代のセキュリティ製品の引合い増加。
- ◆ アプリケーション・サービス事業：売上収益は過去最高を記録。CRM分野は前年度までの特需反動に加え、受注段階から全般的にスロー。医療分野は堅調に推移。ソフトウェア品質保証分野は受注堅調も、サブスクリプション型のライセンス売上増加に伴い、短期的な収益への貢献は限定的。

情報基盤事業

アプリケーション・サービス事業

単位：百万円

単位：百万円



(単位：百万円)

	21年3月期 1Q	22年3月期 1Q	増減額	増減率
情報基盤事業	5,184	5,267	+82	+1.6%
アプリケーション・サービス事業	2,330	2,345	+14	+0.6%

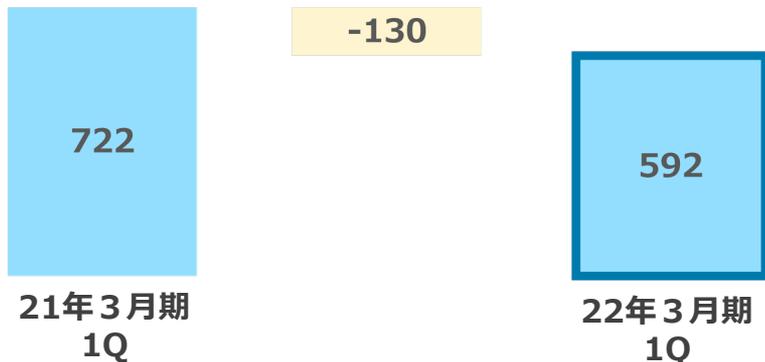


セグメント別 連結営業利益（第1四半期）

- ◆ 情報基盤事業：売上収益は前年度比較で増加も、**営業利益は昨年対比で減少。**
前年度第1四半期において、リモートワークを支援するセキュリティ関連製品の特需があったこと、新規顧客の獲得を目的とした大規模展示会の開催中止等により販売管理費が抑えられたことの反動が主な要因。
- ◆ アプリケーション・サービス事業：売上収益は前年度比較で増加も、**営業利益は昨年対比で減少。**
前年度第1四半期において、新規顧客の獲得を目的とした大規模展示会の開催中止等により販売管理費が抑えられたことの反動及びCRM分野のバージョンアップ特需の反動。また、教育事業への投資、投資段階の子会社が連結に加わったことによる営業損失の取り込みが主な要因。

情報基盤事業

単位：百万円



アプリケーション・サービス事業

単位：百万円



(単位：百万円)	21年3月期 1Q	22年3月期 1Q	増減額	増減率
情報基盤事業	722	592	△130	△18.1%
アプリケーション・サービス事業	241	55	△185	△77.0%



- ◆ 連結受注高・連結受注残高共に、昨年度対比で情報基盤事業を中心に増加。

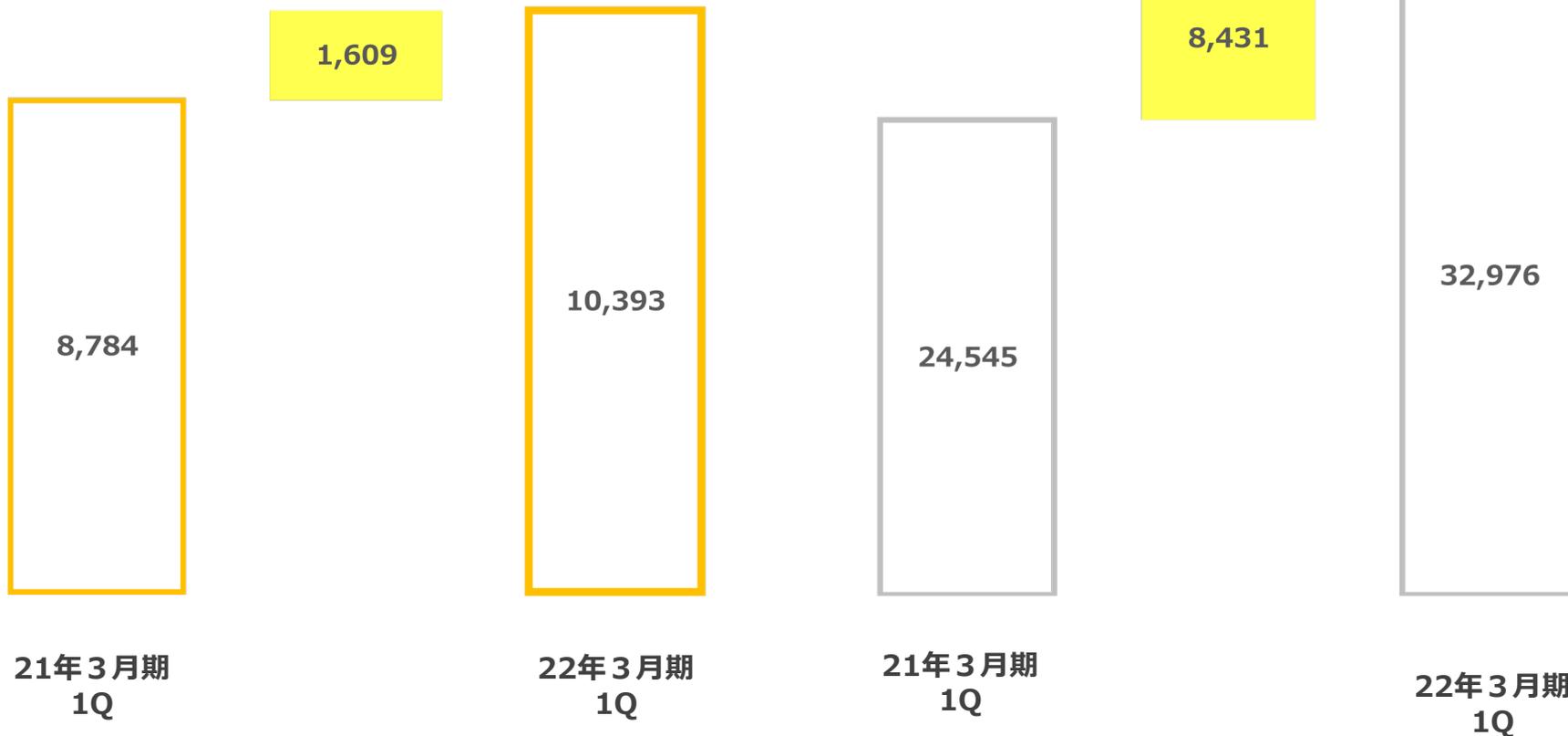
全社合計

受注高

受注残高

単位：百万円

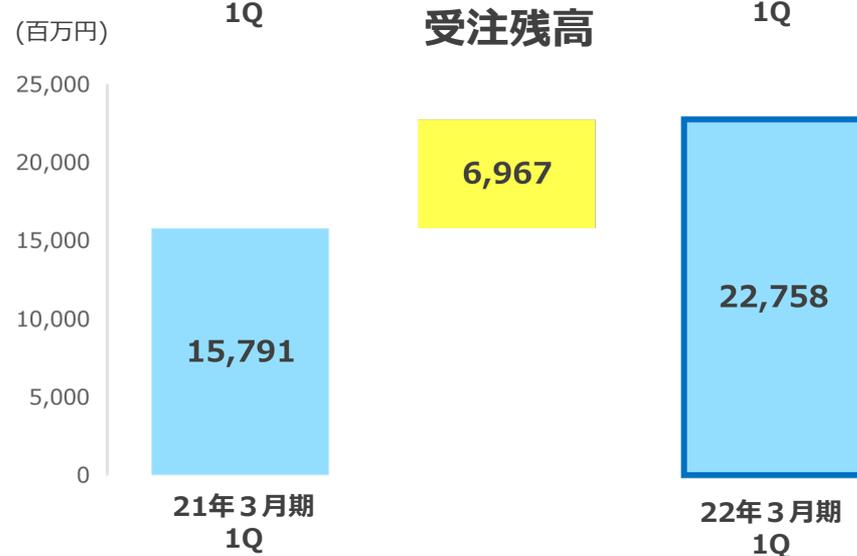
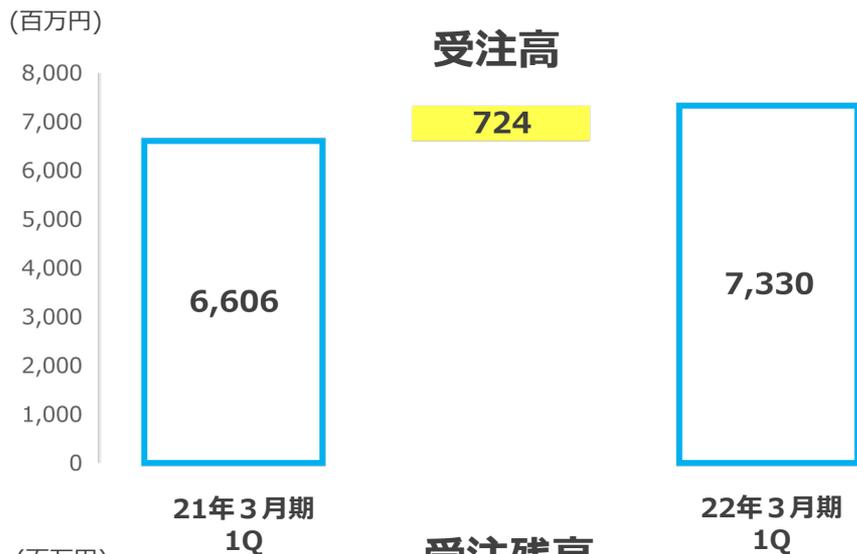
単位：百万円



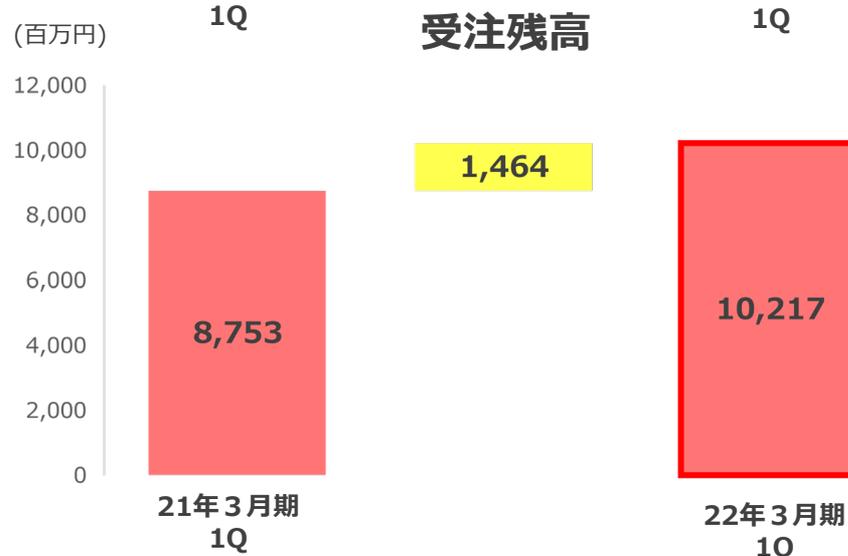
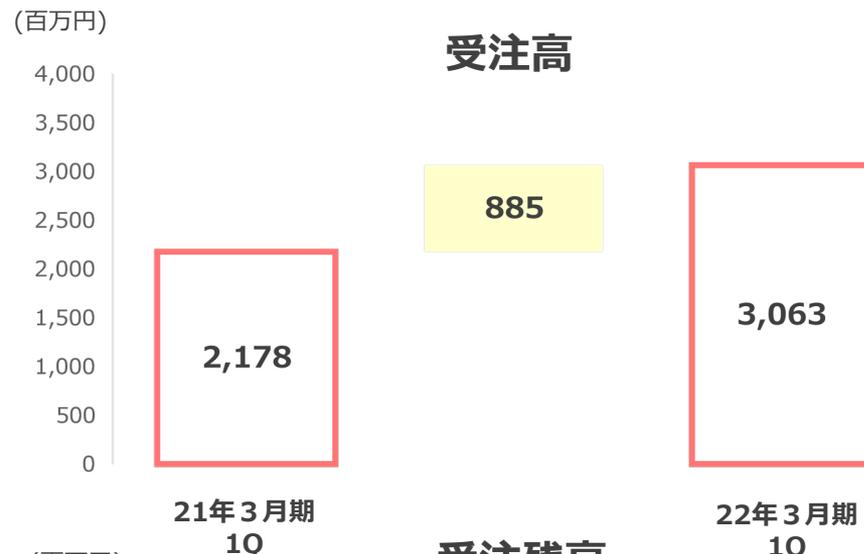


受注高と受注残高（連結）

情報基盤事業

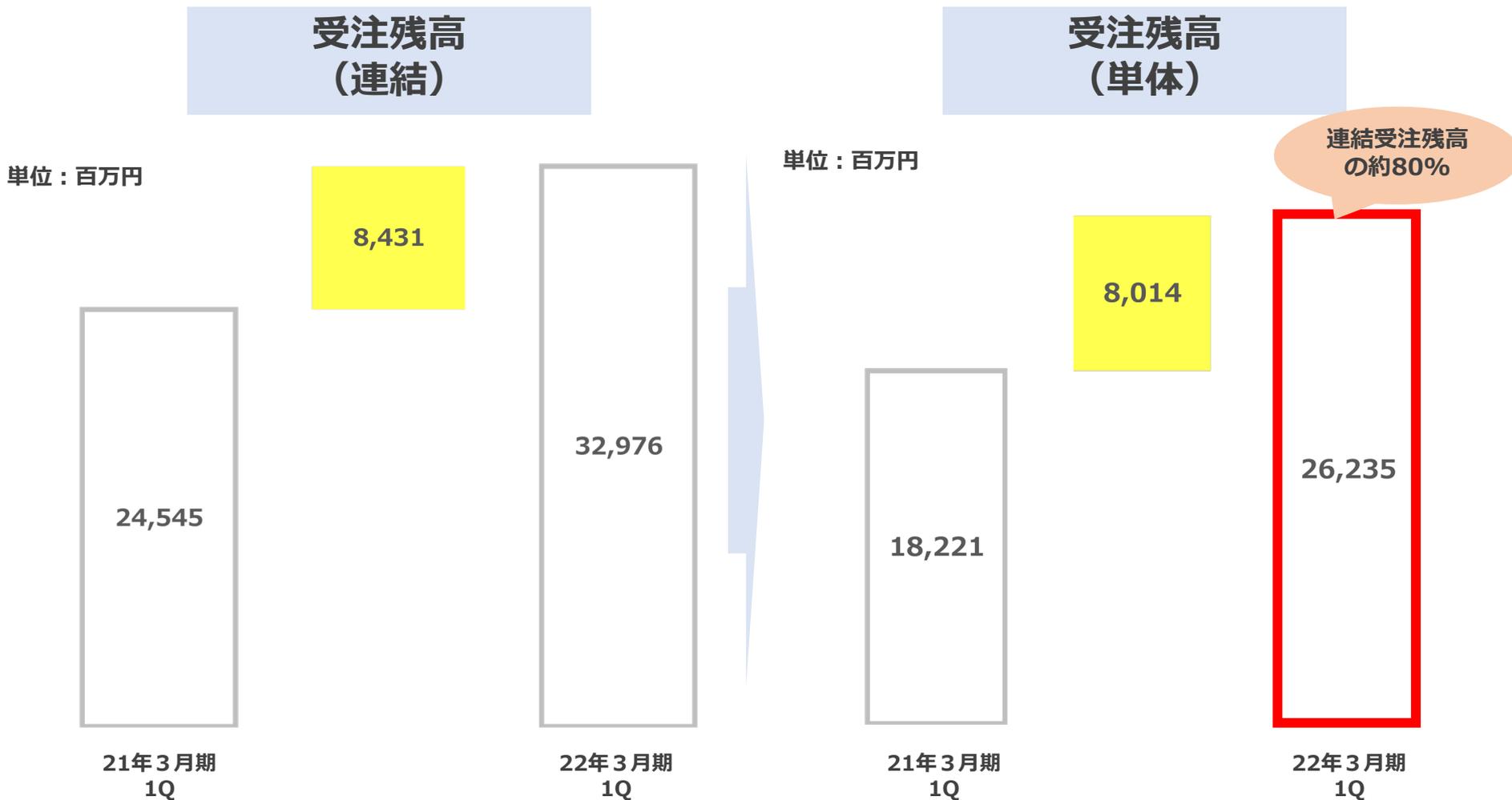


アプリケーション・サービス事業





◆ テクマトリックス単体での受注残高の状況は以下のとおりです。





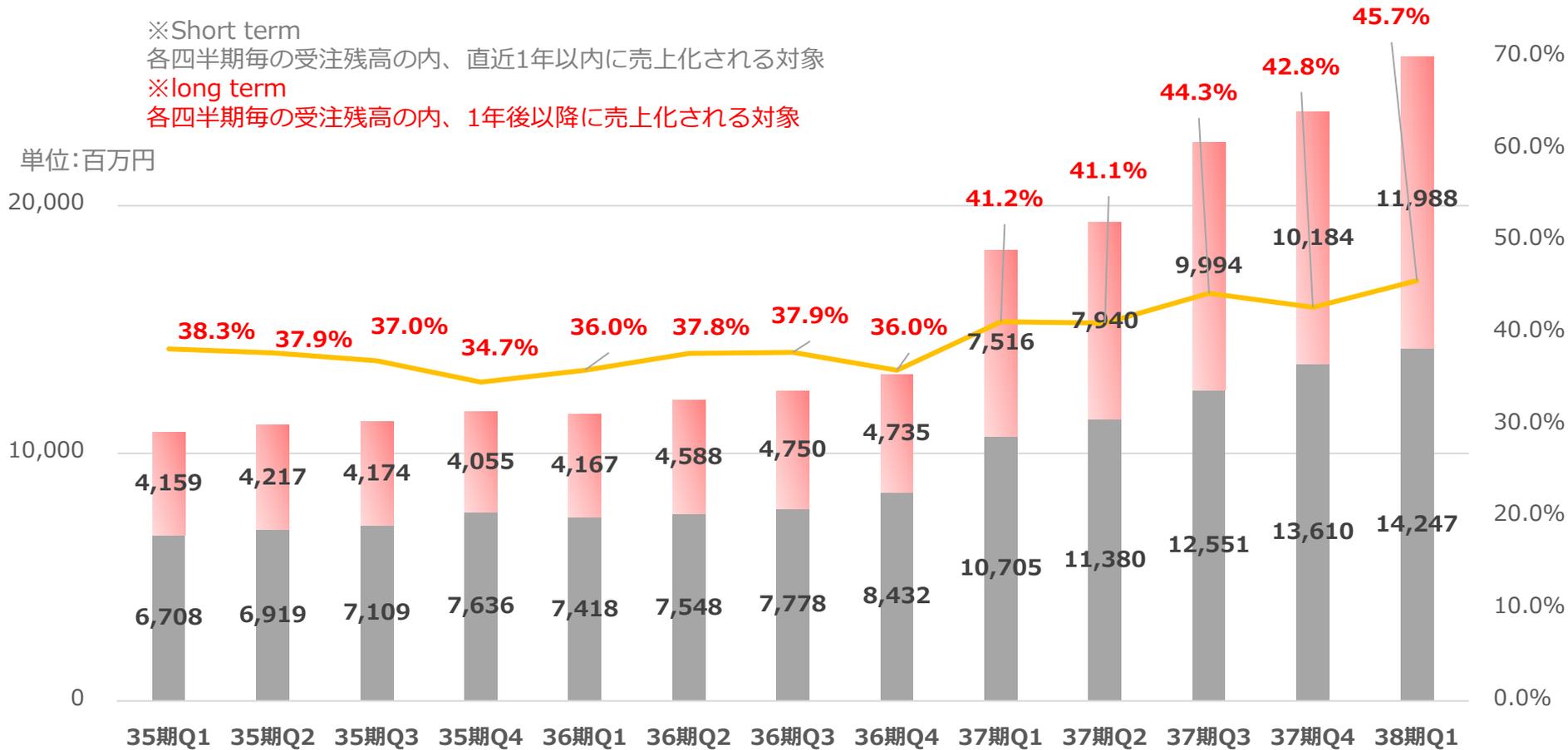
受注残高の状況（単体）

◆ テクマトリックス単体での受注残高の内訳は以下のとおりです。

■ short term ■ long term — long term rate

※Short term
各四半期毎の受注残高の内、直近1年以内に売上化される対象
※long term
各四半期毎の受注残高の内、1年後以降に売上化される対象

単位:百万円

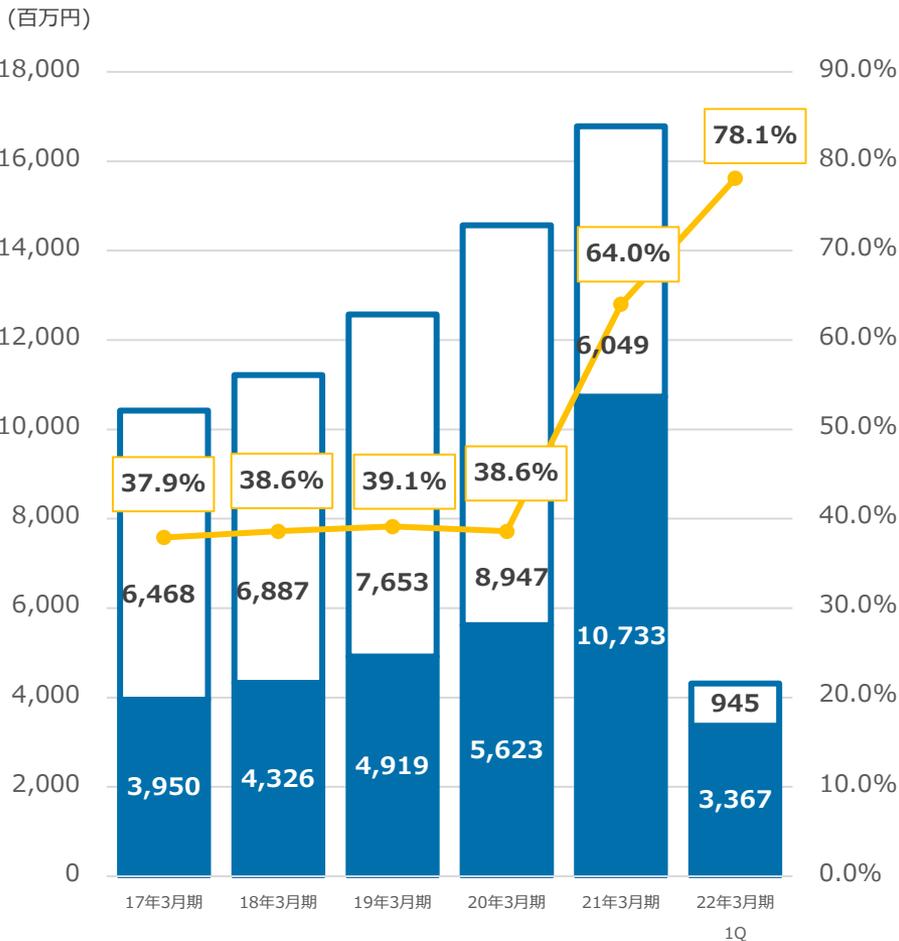


会計基準の変更
(新収益認識基準の適用)

会計基準の変更
(IFRS)



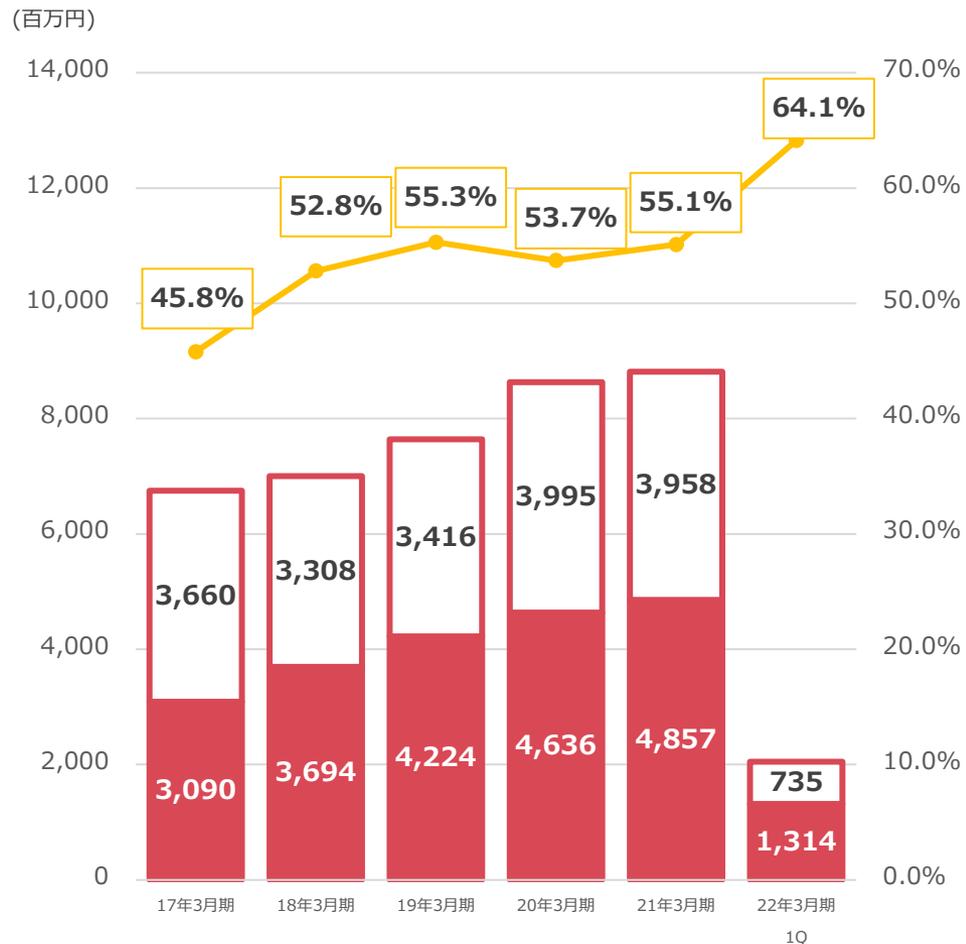
情報基盤事業



■ ストック □ 非ストック ● ストック割合

* 21年3月期に新収益認識基準適用により、これまでフローとして計上していた売上（保守一体の製品販売や一部のサブスクリプション型）を厳格にストック計上。これにより、情報基盤事業のストック比率が向上。

アプリケーション・サービス事業



■ ストック □ 非ストック ● ストック割合

* 21年3月期に新収益認識基準適用により、これまでフローとして計上していた売上（主にテストツールの売上）を厳格にストック計上。従前からのクラウドビジネスの積み上げも奏功し、アプリケーション・サービス事業は、ストック比率が向上。



<連結・セグメント別業績予想> * IFRS基準

2022年3月期 (業績予想)	売上高 (売上収益) (百万円)	営業利益 (百万円)
情報基盤事業	23,000	3,000
アプリケーション・ サービス事業	10,000	700
合計	33,000	3,700

◆ 情報基盤事業：

- サイバーセキュリティ関連市場の需要が引き続き旺盛であることを想定
- クラウド型サイバーセキュリティ対策製品の需要伸長、オンプレミス型製品も安定成長を見込む
- 前年度においてリモートアクセス関連製品の特需が発生するも、当事業年度は当該特需は見込まず

◆ アプリケーションサービス事業：

- 教育事業の垂直立上げ/CRM分野での海外事業拡大に向けた積極投資を実施予定
- 一部製品において永久ライセンスモデルからサブスクリプションライセンスモデルへの移行を予定
- 医療分野におけるPHRサービス及びAI関連ビジネスは時間をかけて収益に貢献する見込み
- ビジネスソリューション・ソフトウェア品質保証・CRM分野では、引き続き顧客での意思決定が遅延する傾向
- 過去2年間CRM分野において発生したバージョンアップ需要については前年度で一巡

◆ 共通：

- 昨年1Qにおいて参加自粛した各種展示会・イベントへの積極参加を予定
- 前年度において非連結対象であった連結子会社の売上高 (売上収益) ・営業利益/損失を加算



<本資料の取り扱いについて>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあり得ます。

従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご了承ください。

<お問合せ先>

テクマトリックス株式会社 経営企画課 TEL:03-4405-7802 ir@techmatrix.co.jp